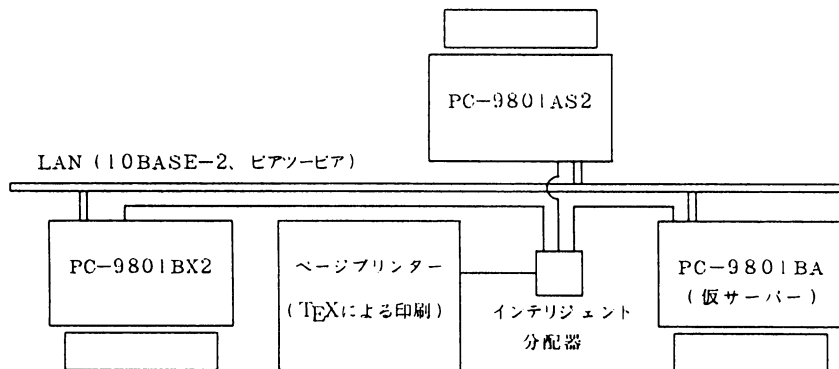


コンピュータによる生徒出欠・成績管理について

宮崎東高等学校定時制夜間の部

1. システムの概要

- (a) NECのパソコン3台（PC9801のBA、BX2およびPC9821AS2）をメルコ社製のLANカードにより「10BASE-2」（ピアツーピア）接続している。
3台がそれぞれ「クライアント」と呼ばれるデータ入力のための端末となり、また、その中の「BA」が仮の「サーバー」として、出欠・成績などのデータを保存・管理している。
- (b) 出力データは汎用的な処理が可能ないようにテキスト形式とする。また、印刷には「桐」「アルガ」などの市販データベース・ワープロも用いるが、おもに、機種依存性がなく高品位の出力が期待できる組版ソフトの「TEX」を使っている。



2. 運用について

- (a) 授業終了後に各科目担任が、または、放課後に学級担任が、各生徒の各時限における出欠状況を3台のいずれかのコンピュータより入力する。
定期考査の各教科評点も同様に入力する。
- (b) 各科目担任および、学級担任が、多角的に処理された集計データを適宜ファイル出力、または印刷出力し、生徒指導の一助とする。
- (c) 教務の出欠統計係が、定期的な報告資料の差し込みデータとしてファイル出力する。

3. 出力データ例

- 各類型の時間割
 - 各先生の前期後期の時間割
 - 各生徒の前期後期の時間割
 - ◎ 生徒の欠課時間表
 - ◎ 先生の科目別欠課
 - 学級欠課月別集計
 - 選択科目生徒名簿
 - 科目履修人数一覧
 - 通信科目履修一覧
 - など
- ◎ 次頁以降に印刷例あり